

報道関係者各位

2012年8月10日
森ビル株式会社

アカデミーヒルズ 海外ビジネススクールと連携強化

日本初、「ドラッカースクール」によるマネジメントプログラム共催
「ハーバード・ビジネス・スクール日本リサーチセンター」を誘致

森ビル株式会社が運営する社会人向け教育機関「アカデミーヒルズ」（理事長 竹中 平蔵）は、この度、日本で初めて「ドラッカースクール」のマネジメント教育プログラムを共催いたします。また、8月下旬には、「ハーバード・ビジネス・スクール」日本リサーチセンターをアカデミーヒルズ内に誘致するなど、今後もこうした海外ビジネススクールとの連携を強化し、グローバル人材育成を支援し、日本の国際競争力の向上に貢献してまいります。

日本の国際競争力強化のためにドラッカースクールと共同開催

ドラッカースクール（Peter F. Drucker and Masatoshi Ito Graduate School of Management 学長 山脇秀樹、1971年設立）は、「マネジメントの父」と称されるピーター・ドラッカー氏の名を冠した唯一の経営大学院で、氏も亡くなる直前まで30年以上教鞭を執ったことで知られます。氏がマネジメントを教える上で重視した教養（リベラルアーツ）に力点を置いて学生を指導する世界でも稀な経営大学院であり、日本人の起業家も多数輩出しています。

この度、山脇学長の「日本の閉塞性を打開し日本企業が新しい活路を見いだす一助に」との思いから、ドラッカースクールの日本における初のマネジメント教育プログラムをアカデミーヒルズと共同で開催することとなりました。

【ドラッカースクール学長 山脇秀樹氏のコメント】

日本企業がかつてのような国際競争力と活力を取り戻すために今なすべき事は何でしょうか。いま、新しい発想・視点・ビジョンに基づくマネジメントが必要とされています。日本の若い30代・40代の将来を担うビジネスマン・ウーマンにはなんとか日本を立て直そうと強い信念を持っている方が多いと思います。その意味で、成果を出せる可能性を秘めた将来のリーダーは日本に存在すると信じています。



「ハーバード・ビジネス・スクール」日本唯一の活動拠点を誘致

また、本年8月下旬には、ハーバード大学の経営大学院「ハーバード・ビジネス・スクール（以下 HBS）」の日本リサーチセンター（センター長 佐藤信雄、2002年設立）が、アカデミーヒルズ内に事務所を構えます。日本リサーチセンターは、HBS 教授陣による日本企業の経営課題や最新動向、慣行についてのリサーチやケース・スタディ作成を支援するほか、HBS の日本における唯一の出先機関として、MBA や企業幹部向けプログラム、ケース・メソッドのプロモーションなど幅広い活動の拠点となります。

【当件に対する取材のお問合せ先】

森ビル株式会社広報室 深町

E-mail : koho@mori.co.jp TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306

【ドラッカースクール マネジメントプログラムシリーズ】

米国カリフォルニア州クレアモントにあるドラッカースクールは、少数精鋭の教授陣がリベラルアーツ(教養)に力点を置いた教育方針に基づき学生を指導する、世界でも稀な経営大学院です。今回の3セッションでは、クレアモントでの授業同様に、多極的な視点から考え、議論し、その過程からマネジメントの本質を探ります。日本では、なかなか受講することのできない新しい視野と視点に基づいて、日本人として初めて米国の経営大学院学長となった山脇秀樹氏から直接学ぶことができる貴重な機会です。講座は原則英語により進行され、全3回を履修された方にはドラッカースクールから修了書が発行されます。

【開催概要】

主 催：アカデミーヒルズ

共 催：ドラッカースクール (Peter F. Drucker and Masatoshi Ito Graduate School of Management)

価 格：1回 42,000円

定 員：40人

受講をお勧めしたい人：

- ・海外留学を考えている方
- ・アメリカのドラッカースクールで行われている講義エッセンスを体験したい方
- ・海外からの視点で日本企業の戦略を考えたい方

第1回 「Strategy and Design Thinking - Identify the future that has already happened」

日 時：2012年9月1日(土) 13:00-17:00

講 師：山脇秀樹(ドラッカースクール 学長)

内 容：急激に変化するグローバルな競争環境の中、長期的な成功を維持するためにマネージャーは今何を考え、実行に移すべきなのか。本セッションでは日本企業がかつてのような国際競争力と活力を得るために必要なことを、特に“人”の視点からの発想と創造力を重要視するデザイン思考に基づくビジネスモデルを導入して議論します。

第2回 「The 21st Century Effective Executive: Moving Beyond the Hardworking Society: Redefining Productivity for the Age of Knowledge Work」

日 時：2012年11月17日(土) 13:00-17:00

講 師：Jeremy Hunter(ドラッカースクール 准教授)

内 容：グローバルなビジネス展開でマネージャーが直面する最重要な問題な多様なスタッフをマネージする事です。『自分をマネージできなければ人をマネージすることなどできない』というドラッカーの主張のように、マネージャーの“意識”を高め、生産性を向上するにはどうしたよいかをこの講座では議論します。

第3回 「The Drucker Vision」

日 時：2013年1月26日(土) 13:00-17:00

講 師：Joseph Maciariello(ドラッカースクール教授)、山脇秀樹(ドラッカースクール学長)

内 容：近代社会の最も重要なイノベーションの一つはマネジメントと言えます。

しかし、ピーター・ドラッカーが考えるマネジメントの本質からは現代の企業社会は遠のいていると言っても過言ではありません。ドラッカーの提案するマネジメントとの本質をこのセッションでは提案します。

【アカデミーヒルズにて開催中のグローバル人材育成プログラム実施例】

アカデミーヒルズでは、「グローバル・アジェンダ・ゼミナール」の開催等を通じて、これまでもグローバル人材を目指すビジネスパーソンの学びを支援してまいりました。今後もこうした海外ビジネススクールとの連携を強化し、グローバル人材育成を支援し、日本の国際競争力の向上に貢献してまいります。

■ 石倉洋子のグローバル・アジェンダ・ゼミナール

グローバル・アジェンダ・ゼミナールは「グローバル人材」を目指すビジネスパーソンを支援する3ヶ月の短期プログラムです。グローバル人材の日本の第一人者、石倉洋子氏と共に、国連やダボス会議で議題として上がる世界が直面する問題「グローバル・アジェンダ」をテーマに、自分の問題意識や考えをグローバル社会の共通言語である英語を使って分かりやすく相手に伝えられるようになることを目指します。2012年は1ターム3ヶ月構成で3ターム開講。9月に始まる第3タームは環境問題にビジネスの手法で取り組む起業家、カーボンフリーコンサルティング株式会社代表の中西武志氏を迎え、「環境」をテーマに議論し、戦略的な提言をまとめます。



石倉洋子
(慶應義塾大学大学院教授)

■ UCLA Extension Tokyo Center 提携講座

英語で行うビジネスミーティング実践トレーニング

世界のビジネスシーンで通用する英語コミュニケーション力をトレーニングするUCLA Extension Tokyo Centerが、アカデミーヒルズとのコラボレーションで開催する講座シリーズ。特に必要とされる「ビジネスミーティング（会議）」、「ビジネスプレゼンテーション」、「異文化コミュニケーション」の3つのテーマにフォーカスし、特別にカスタマイズしたプログラムを3回シリーズで開催し、単なる会話ではなく、実際のビジネスシーンで使う英語力を身につけたい方に向けたトレーニングを行います。

なお、第1回の「ビジネスミーティング」は申込み開始した初日に満席になるなど、ビジネスシーンに役立つ英語を使った実践的プログラムはニーズが高く、今後も継続開催の予定です。



David Tedone
(UCLA Extension
Tokyo Center 主任講師)

【アカデミーヒルズ <http://www.academyhills.com>】

森ビルは「世界的文化都心の創造」をヴィジョンに、街づくりに「都市を創る（ハード面）」と「都市を育む（ソフト面）」の両面から取り組んでいます。「都市を育む」取り組みの一つとして、森ビルが運営するアカデミーヒルズ（理事長 竹中平蔵 慶應義塾大学教授）は“自律的に自立する個人の支援”をミッションに、「Roppongi BIZ」「アーテリジェントスクール」などを運営する「スクール事業」、会員制図書館を運営する「ライブラリー事業」、貸しホール・貸会議室を運営する「フォーラム事業」の3つの機能を軸に、都市生活者に対して「知的活動の場」と「教育の機会」を提供しております。